

# TestRail Backlog欠陥プラグイン

---

- 更新日：2023年9月22日
- プラグインバージョン：1.2.0

## 更新履歴

- 2021/04/28 :
  - 新規作成
- 2021/07/17:
  - 設定例の欠陥追加URLを修正
- 2021/09/22:
  - 添付ファイルに対応（TestRail 7.0以降が必要）
- 2021/10/19:
  - マニュアルリンク先を変更
- 2021/11/04:
  - プラグインバージョンを更新
- 2023/07/11:
  - TestRail8.0.0に対応
- 2023/09/22:
  - マイルストーン/発生バージョンに対応

## 環境

- 以下のバージョンにて動作確認済です。
  - TestRail: 7.0.1.1015, 8.0.1.1029
  - Backlog: クラウド版 2023/09/22時点

## 概要

- TestRailにてテスト結果を登録する際に、Backlogの課題を作成（ブッシュ）します。
- TestRail上からBacklogの課題情報を閲覧します。

## 注意事項

- Backlogの課題登録時に以下のフィールドを利用できます。\* は必須です。
  - 件名 \*
  - プロジェクト \*
  - 分類(タスク、バグなど)
  - カテゴリー \*
  - 優先度 \*
  - マイルストーン
  - 発生バージョン
  - 課題の詳細

- 添付ファイル



欠陥のプッシュ

件名 \*

Failed test: (テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認する

プロジェクト \* 種別 \* 優先度 \*

edfqnwaamdndw バグ 中

カテゴリ

課題の詳細

T3825: (テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認する  
http://localhost:8000/index.php?/tests/view/3825

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

✓ 登録 × キャンセル

- Backlogのカスタムフィールドには対応していません。
- 添付ファイル名に日本語が含まれている場合、**添付すると日本語文字が \_ に変換されます。また、ファイル名の頭にTestRailの添付ID（連番）が追加されます。**
  - 例
    - 添付したファイル名：csvインポート.csv
    - 実際に添付されるファイル名：49.csv\_\_\_\_\_.csv

# 導入手順

## 1. スクリプトの配置 (オンプレミス版のみ)

- 以下の場所にスクリプトを配置します。フォルダが存在しない場合は作成してください。

```
/<testrail-root>/custom/defects
```

## 2. ユーザー変数の追加

欠陥トラッカーのケースの Web アドレスです。実際のケース ID のプレースホルダーとして %id% を使用します。 [詳細](#)

欠陥追加 URL

欠陥トラッカーに新しいケースを追加する際に使用する Web アドレスです。 [詳細](#)

欠陥プラグイン

TestRail と欠陥トラッカーを統合するためのプラグインです。プラグインの設定は下で行うことができます。 [詳細](#)

欠陥トラッカーとセキュアな接続を行うために、HTTPS を使用してください。ユーザーおよびパスワードを安全に保存するため、ユーザー変数を使用することが推奨されます(ユーザーごとにログインをカスタマイズするにも使用できます)。 [詳細](#)

欠陥ダイアログの説明フィールドに表示されるテンプレートを入力します。

ユーザー変数	タイプ	フォールバック
ユーザー変数の追加		

✓ 設定の保存 × キャンセル

変数の設定

ラベル\*

backlog\_api\_key

ユーザー インターフェイスの [ 個人設定 ] に表示されるユーザー変数のラベルです。

説明

BacklogのAPIキーを設定してください。

説明は、[ 個人設定 ] でユーザー変数の隣に表示されます。

システム名\*

backlog\_api\_key

データベース内でこのユーザー変数に使用されるユニークな名前。スペースを含まない小文字だけで構成される必要があります。この名前は、後から変更できないことに注意してください。

タイプ\*

文字列

タイプは後で変更できません。

フォールバック

ユーザーがユーザー変数に値を入力していない場合に使用されます。たとえば、欠陥プラグインのデフォルトのログインパスワードを指定するのに便利です。

✓ OK × キャンセル

- Backlogに課題を登録する際に、課題の作成者を個別のユーザーとする場合は、ユーザー変数を追加します。ユーザー変数にBacklogのAPIKeyを登録できるようにし、TestRailのユーザーごとに異なるAPIKeyを設定できるようにします。
- [管理] > [統合] を開き、画面下部の [ユーザー変数の追加] を選択します。
- 画像のように、ユーザー変数を指定します。
  - ラベル：任意のもの（例：BackLogのAPIキー）
  - システム名：英子文字（例：backlog\_api\_key）
  - タイプ：文字列
- 参考：[ユーザー変数](#)

### 3. 連携の設定

#### Backlogプラグインの選択

ダッシュボード

プロジェクトの編集

プロジェクト ユーザー グローバル設定を管理します。

プロジェクト アクセス 欠陥 参照

欠陥表示 URL

https://<mysubdomain>.backlog.com/view/%id%

欠陥トラッカー内のケースの Web アドレスです。実際のケース ID のプレースホルダーとして %id% を使用します。グローバル設定を使用する場合は空のままにします。 [詳細](#)

欠陥追加 URL

https://<mysubdomain>.backlog.com/add/MYPROJECT

欠陥トラッカーに新規ケースを追加するための Web アドレスです。グローバル設定を使用する場合は空のままにします。 [詳細](#)

欠陥プラグイン

Backlog

TestRail と欠陥トラッカーを統合するためのプラグインです。グローバル設定を使用する場合は空のままにします。プラグインの設定は下で行うことができます。 [詳細](#)

[connection]  
address=https://<mysubdomain>.backlog.com/  
api\_key=%backlog\_api\_key%

欠陥トラッカーとセキュアな接続を行うために、HTTPS を使用してください。ユーザーおよびパスワードを安全に保存するため、ユーザー変数を使用することが推奨されます (ユーザーごとにログインをカスタマイズするのにも使用できます)。 [詳細](#)

▶ 欠陥ダイアログの説明フィールドに表示されるテンプレートを入力します。

✓ プロジェクトの保存 × キャンセル

- TestRailのプロジェクト個別に連携の設定を行う場合は、TestRailからプロジェクトを開き、画面右上の[編集]ボタンから、[欠陥]タブを開きます。
  - TestRail上のすべてのプロジェクトで同じ設定を使う場合は、[管理] > [統合] の[欠陥]タブから設定を行います。
- [欠陥プラグイン]のプルダウンから **Backlog** を選択してください。

#### プラグインの設定

- <yoursubdomain>や<yourprjectname>はお使いのBacklogに合わせて変更してください。
- URLの指定をします。

欠陥表示URL : https://<yoursubdomain>.backlog.com/view/%id%  
欠陥追加URL : https://<yoursubdomain>.backlog.com/add/<yourprojectname>

- プラグインの詳細設計をします。

```
[connection]
address=https://<yoursubdomain>.backlog.com/
api_key=%backlog_api_key%
```

- api\_keyにユーザー変数を指定した場合は、作成したユーザー変数のシステム名を%で囲んだ文字列を指定ください。

# 利用手順

## 1. 個人設定でBacklogのAPIキーを設定

- TestRailユーザーごとに実施してください。事前にBacklog上にて、APIキーを発行する必要があります。
- TestRailの画面右上から、ログインしているユーザ名 > [個人設定] を選択します。



- [設定] タブから、バックログのAPIキーを設定します。



# 動作イメージ

- テストランの結果登録時に、欠陥のプッシュを実行するとBacklogの課題を作成します。

欠陥のプッシュ

件名\*  
Failed test: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する

プロジェクト\*

testrail-test

種別\*

タスク

優先度\*

高

カテゴリ  
GUI

マイルストーン  
Ver3.0  
Ver2.0  
Ver1.0  
Ver2.0

課題の詳細  
T4036: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する  
http://localhost:8000/index.php?/tests/view/4036

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

登録

キャンセル

- テスト結果の欠陥にマウスオーバーすると作成した課題の内容が表示されます。また、リンクをクリックするとBacklogの画面を開きます。

欠陥  
TESTRAILTEST-98

Passed

2023/09/22 14:17  
Keiji A. 編集

欠陥  
TESTRAILTEST-97

Passed

2023/09/22 14:12

TESTRAILTEST-98: Failed Test: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する

IssueType	Status	Project
タスク	未対応	TESTRAILTEST
Category	Milestone	
GUI	Ver3.0	

T4036: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する  
http://localhost:8000/index.php?/tests/view/4036

以上